

第4回東通村総合教育会議議事録

1. 日 時 平成28年11月14日(月) 10:00～11:20

2. 会 場 東通村交流センター3階「委員会室」

3. 出席者 東通村総合教育会議構成員

東通村長 越 善 靖 夫

東通村教育委員会 教育委員長 鈴木 眞 治

東通村教育委員会 教育委員長職務代行者 橋 本 健 一

東通村教育委員会 教育委員 北 川 幹 雄

東通村教育委員会 教育委員 大 槻 淳 (欠席)

東通村教育委員会 教育長 奥 島 涼 子

東通村総合教育会議オブザーバー

東通村副村長 林 春 美

東通村総務課 課長 小笠原 伸 一

東通村いきいき健康推進課 課長 畑 中 能 文

東通村教育委員会事務局教育次長 相 内 洋 一

東通村教育委員会事務局教育総務課 課長 川 村 哲 也

東通村教育委員会事務局教育指導課 課長 畑 山 元 康

東通村教育委員会事務局給食センター副参事 川 端 義 秋

東通村教育委員会事務局教育総務課 教育総務GL 総括主幹 越 善 専一郎

東通村教育委員会事務局教育指導課 指導主事 中 村 徳 郎

東通村総合教育会議事務局

東通村経営企画課 課長 菊 池 敢 世

東通村経営企画課地域戦略GL 総括主幹 田 村 一 馬

東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 西 谷 聖 子

4. 傍聴者 なし

5. 会議内容

(1) 開 会 司会：経営企画課 地域戦略GL 総括主幹 田村 一馬

(2) 村長挨拶 村長 越善靖夫

前回の総合教育会議では、教育委員会で策定した東通村教育振興基本計画を東通村教育大綱として、定めることに決定した。

村教育委員会では、平成27年度から平成29年度までの計画期間内での諸施策を着実に実施している。

今回、第4回目となる会議では、「東通村の教育の現状と課題について」を主な議題として、委員の皆様には忌憚のない意見交換をお願いしたい。

(3) 議事録署名者指名 議長：村長 越善靖夫

議事に入る前に、事務要領第4条第2項における会議録の署名者に、奥島教育長と鈴木教育委員長を指名する。

(4) 議 事 議 長：村長 越善靖夫

○議 長：村長 越善靖夫

「案件1 東通村教育の現状と課題について」事務局の説明を求める。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

東通村教育の現状と課題について、資料1に基づき説明する。

本日の総合教育会議は、教育大綱の施策の方向性と推進の観点から、学校教育関係では、次の4項目を取り上げる。確かな学力の向上について、健やかな体の育成について、いじめ・不登校等の問題について、特別支援教育について、又、社会教育関係では、婦人会の会員数の減少についての1項目を取り上げる。

その中で、今回協議・調整された内容については、平成29年度当初予算編成及び今後の教育行政等に反映させる。

○議 長：村長 越善靖夫

只今の事務局説明のとおり、今回の会議では「東通村教育の現状と課題」について意見交換を行い、その内容については、事務レベルで早急に調整し、平成29年度予算編成や今後の教育行政に反映していく。

第1点目の確かな学力の向上について、東通村では幼小中一貫教育、少人数学級村費負担教員の配置等 他市町村と比較しても手厚い施策を実施・展開している。

特に、村独自の施策の中でも、英語特区を活かした小学校1年生からの英語教育、海外研修事業を実施している。又、本年度から小・中学校に学校司書を配置し、教育環境の充実に努めている。その一方では、保護者の教育に対する意識の向上については、難しい課題も残っている。

キャリア教育についても、東通中学校3年生が東京都北区赤羽商店街で村のPR活動を行っており、将来の職業観を養う上で大変貴重な経験になっている。

これら学力の向上について、実施してきた結果・状況について、教育委員の皆さんから忌憚のない意見を伺いたい。

○鈴木教育委員長

中学校の海外研修は年々内容が充実してきており、指導主事による適切な指導の賜物といえる。又、その報告会が小学生や保護者の意欲に繋がることを期待したい。

保護者の教育意識の向上については、とても難しいことではあるが、村長には文化祭等学校行事への参加を通じて、村長の想いを直接子ども達や保護者の皆さんに伝えることが出来れば、意識の向上に多少なりとも繋がるのではないかと考える。

学校司書の配置については、委員会として感謝している。県内の学校司書の配置及び図書数の少なさには愕然とするが、その中で、村に学校司書を配置したことは、子ども達の教養を高めるものであり、今後の図書室の利用率向上にも反映すると思われる。

○議長：村長 越善靖夫

これまで海外研修を進めてきたが、今後どのように展開していけば良いか、教育委員の皆さんから忌憚のない意見を伺いたい。

また、家庭に帰ってからの学習時間や家庭教育について、保護者に対してどのようにすれば意識を持たせることができるのか、それについても考えを伺いたい。

○橋本教育委員長職務代行者

学校統合によって、参観日や行事等には多くの保護者が集まるが、PTA総会の時になると人が集まらなると聞いている。

PTA総会の流れや多くの保護者に参加を促すためにも、普段からPTA活動等学校と家庭の連絡・連携を深めていく方法を模索していく必要がある。

○北川教育委員

保護者の教育について、私は、家庭の環境はプラスαの位置付けだと思っている。従って、教員の指導方法等スキルを磨くことが、学力アップに直結すると思う。

○議長：村長 越善靖夫

子ども達が無意識に、家庭や学校で学習する姿勢が身に付いていれば全く問題はないが、現在の家庭環境及び学校環境はどういう現状にあるのか。教育長にその点を確認したい。

○奥島教育長

保幼小中一貫教育推進に向け、平成27年度から家庭での過ごし方について、子どもたちの日常生活を2週間に亘り記録し、保護者にもその記録を確認してもらい「チャレンジ週間」を実施している。

その結果、家庭での子どもの過ごし方や保護者の取り組みについても、把握できるようになり学校運営に活かす工夫を模索しているところであり、これからも継続する。

又、北川委員指摘の教員のスキルアップについても、県費負担教員とは別に、村費負担教員を対象に授業研究を取り入れるなど積極的な改善に取り組んでいる。

保護者の意識改革については、小学校ではPTA総会時に保護者との個人面談を取り入れるなど、保護者との面談機会を設けることで家庭と学校の連絡を密にすることに心掛けている。

○議長：村長 越善靖夫

保護者の教育意識の向上は、非常に難しいことである。しかし、学校教育だけの問題ではなく、保護者も教育意識を持って取り組む必要がある。

従って、教育の本質をしっかりと見極め、家庭教育の有り様についても、取り組んでいくことが、これからの課題といえる。

そのためにも、学校の現場だけではなく、教育委員会と村が一体となって取り組むことによって、子ども達の学習意欲の向上に結びつくものと期待したい。

○鈴木教育委員長

親は変わらなくとも、子ども達は日々成長し、変わっていくものである。子ども達が成長することで、親も成長する必要がある。子どもの学力も大事ではあるが、学校における子ども達の人間的な成長も楽しみの一つといえる。

また、奨学金については、海外留学も対象となり、今まで以上に家庭への経済支援が充実することで、子ども達の志望選択肢が拡大し、保護者の経済的負担も軽減される環境は大変喜ばしい。

しかしながら、地元で雇用の受け皿が無ければ、子ども達は村に戻ることができない。何としても、子ども達が村に戻ってこれる環境を作っていく必要がある。

そのためにも、東通村での教育が子ども達の礎になってもらいたい。そして、教育に携わる大人全てが、子ども達の教育者であるとの認識を共有する必要がある。

○議長：村長 越善靖夫

先般、9月に青森県町村会の関係で北欧を視察した際、フィンランドの学校現場を見学した。その中で、小学3年生から英語の文法を学んでおり、女子はミシン、男子はのこぎり等を使って工作をしていた。

日本の教育事情とは違うと思うが、いろいろな面で日本と比較した場合、教育のレベルが進んでいる印象を受けた。例えば、教師の採用自体が日本とは根本的に違う。大学の教育学部を終わった者ではなく、大学院等を卒業し、高度な知識を身に付けた者でなければ採用しないという、教師のレベルが日本より遥かに高いことに関心した。

○奥島教育長

東通村では、英語特区を活かし、小学校から英語教育を行っているが、2020年から英語教育が小学校3年生より必修になる。そこで、それに向けて他の学校と同じではなく、東通村独自の教育スタイルの確立に向け検討している。

○議長：村長 越善靖夫

海外研修については、現在のままで良いのかということも含めて検討していかなければならないと思う。現在の参加者は10名程度となっているが、事業実施当初は15名の参加者が年々減少しているようなので、今後改めて参加者の確保に努力してもらいたい。

○鈴木教育委員長

今年、海外研修を行っている福島県の学校を視察した際、海外研修後、ホームステイ先の子ども達が日本に来て、町独自でホームステイ事業を行なっている事例もあるので、村としても海外研修に行くだけではなく、受け入れる体制づくりを考えることも必要ではないかと思う。

そうすれば、グローバルな交流に広がっていくような感じがする。

○議長：村長 越善靖夫

全国でもそのような取組みを行っているところが、いくつかあると聞いているが、海外の子ども達が、日本に来る時に全て実費というのも大きな問題であるので、費用等色々検討していく必要がある。

○奥島教育長

海外研修に行ってきた子ども達は、文化祭での発表のほか、小学校5・6年生対象の「イングリッシュ・デイ」にスタッフとして参加し、英会話や英語力の向上に努めている。

今年の参加者に応募動機を聞いてみると、海外研修に参加した中学生から「行って良かった」「勉強になった」という話を聞いて、応募したという意見が多くあった。

これまでは、研修に参加した子ども達が、研修成果を伝える場面が少ないこともあり、報告会や小学生よる「イングリッシュ・デイ」を通して、広く研修成果を伝える機会を設けていけば、今後もっと参加希望者が増えるものと期待している。

○議長：村長 越善靖夫

今は、英語が話せる事が当たり前の時代になっており、全国レベルでの英語教育について考えていく必要がある。そして、子ども達にはどんどん国際社会の場で活躍して頂きたい。

○北川教育委員

村長に要望することは、生徒数が減少しても、村費負担教員を減らさないで頂きたい。

○議長：村長 越善靖夫

村費負担教員を減らすということは考えていない。それより「教育環境デザインひがしどおり21」の計画であれば、更なる増員が必要となるが、村の財政事情から現状を維持していく。

教育は、村の最重要課題として取り組んでいる事をご理解頂きたい。

次に、第2点目の「健やかな体の育成について」の「子ども達の肥満の解消」について、話を進めたい。

小学校では、一昨年まで、スーパー食育スクールの指定や学校活動の中で運動量を増やすなど、様々な取り組みを通して改善に努めている事は承知している。

村でも保健師が学校と連携するなど、行政側が子ども達の健やかな体の育成づくりのために積極的に関与していくべきである。保健師が、学校との関わりをより深め、子ども達の健やかな体の育成づくりを支援することについて、委員の皆さんが、どのように考えているのか伺いたい。

青森県は、全国一の短命県であり、その中でも下北郡の割合が極めて高い状況にあることから、学校教育の中での、肥満解消対策は不可欠なものと思う。

○鈴木教育委員長

学校運営の一貫として、個人面談等で保健師が直接子ども達と保護者に指導するのも一つの方法といえる。

○橋本教育委員長職務代行者

そのような取り組みは、既に実施している旨聞いている。

○議 長：村長 越善靖夫

今後、肥満解消対策については、保健師と学校の先生方と教育委員会とで連絡・相談しながら、保健師が学校と関わりをもって、子ども達の健康増進に向けて取り組んでいてもらいたい。

その点については、教育委員の皆様も同感ではないかと思う。

次に、第3点目の「いじめ・不登校等の問題について」議論を進めたい。現在、小学校・中学校において、いじめや不登校の問題についてはどのようになっているのか。

また、東通小学校及び中学校では、どのような取り組みを行い、事前に子ども達がいじめや不登校の兆候を掴み、対策を講じているのか。教育長より、説明していただきたい。

○奥島教育長

いじめについての報告は、現在、小学校・中学校ともない。また、学校では、教育相談週間を定期的に設けて、子ども達一人一人に対応している。

不登校については、小学校では1名おり、担任及び生徒指導主任等が家庭訪問を小まめに実施している。中学校では6名おり、学級担任、生徒指導、学年主任による家庭訪問を徹底し、時間がかかっても子どもと保護者との繋がりを絶やさないように連絡をとっている。

不登校の原因は、いじめによるものではなく、集団の中になかなか入れない子どもや、勉強の事や学校に行く意味を見出せないでいることが一番の原因となっている。

○議 長：村長 越善靖夫

次に、第4点目の「特別支援教育について」議論を進めたい。また、本年度、村費負担支援員

を配置した効果は見られているか。

○奥島教育長

村費負担支援員の配置により、勉強や運動に対して後ろ向きで、不登校になるのではないかと思われた子が、見違えるように意欲的に取組むようになった。保護者の方も、毎日楽しそうに学校に行く子どもの様子を見て喜んでいる。

○議 長：村長 越善靖夫

委員会としても、学校と連携しながら、的確な対応をしてもらいたい。

次に、第5点目の「婦人会の会員数の減少について」議論を進めたい。近年、各地区の婦人会員の減少により、連合婦人会団体数が著しく減少している。

若い世代のライフスタイルや価値観の変化など社会的要因など大きく関係していることも考えられるが、いずれにしても抜本的な対策が必要かと思う。教育委員会だけの問題ではないが、婦人会の減少はどのような要因があり、今後、どのような対応策を行っていけば良いか意見を伺いたい。

○橋本教育委員長職務代行者

東通村では、各地区の芸能保存団体や村芸能保存連合会芸能発表会及び村子ども会育成連合会芸能発表会では、地区の婦人会が、子ども達の衣装の着付けや化粧などで協力をしていることから、それぞれの発表会で連合婦人会との共催等連携しても良いのではないかと思う。

○奥島教育長

連合団体組織だけで考えても、解決策はなかなか見出せないのではないか。婦人会の組織の目的が何か、改めてみんなで一緒に考えていきたい。

○議 長：村長 越善靖夫

婦人会の問題だけではなく、社会教育の一環として、地域のコミュニティと絡めながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

いろいろと貴重なご意見を賜り、大変有意義な意見交換を行うことが出来た。

又、意見交換した内容は、早急に事務レベルで調整し、当初予算への反映や今後の行政に反映して参りたい。

○議 長：村長 越善靖夫

「案件2今後のスケジュールについて」事務局の説明を求める。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

今後のスケジュールについて、資料2に基づき説明する。

昨年度、教育振興基本計画、即ち、教育大綱を策定〔27～29年度〕したが、3カ年の計画となっているので、29年度は教育大綱について、議論することになる。又、来年度は3回の会議を予定しているので、教育委員会と相談しながら、内容等取りまとめする。

本日議論して頂いたような意見交換会も予定している。

○議長：村長 越善 靖夫

只今、事務局の説明について、意見・質問があったら発言して下さい。

○委員各位：特になし。

○議長：村長 越善 靖夫

「案件3その他について」何かあったら発言して下さい。

○鈴木教育委員長

統廃合により閉校になった校舎の痛みがひどくなってきており、危ないのではないかとと思われる。厳しい予算事情とは思われるが、1つずつ解決して頂けたらと思う。又、旧石持小学校及び旧南部中学校のグラウンドにある木の枝が、私有地内に伸びてきているので、対応してもらいたい。

○議長：村長 越善靖夫

ご心配をおかけし、誠に申し訳ない。村では定期的に現況調査を実施し、そのようなことが無いように努めている。現在、財政的にも厳しい状況下ではあるが、工夫しながら計画的に対処していく方針である。

○北川教育委員

小学校の校舎で雨漏りしている箇所があるが、処置しているか。又、中学校陸上グラウンドもデコボコ箇所が発生しているので、修繕等の対応をお願いしたい。

○議長：村長 越善靖夫

雨漏りについては、教育委員会で既に対応している。

その他なければ、本日の総合教育会議を終了する。

(5) 閉 会

<議事録の署名>

平成28年11月21日

議事録署名者 奥島涼子

議事録署名者 鈴木真治